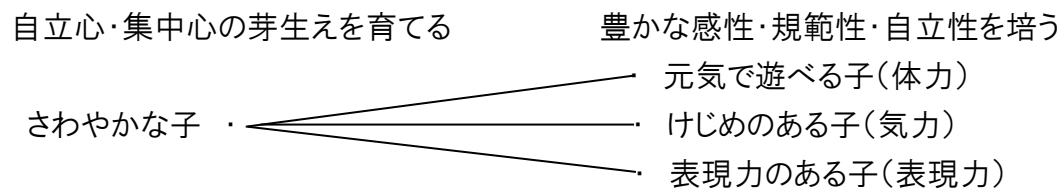


令和元年度 学校法人とくとう学園黒田幼稚園 学校評価

1. 本園の教育目標

(教育目標)



(学年目標)

- ・遊べる子(年少) ・夢中になれる子(年中) ・聞くことのできる子(年長)

(指導指針)

優しく、丁寧に、理を分け、可能な限り具体を通して納得のいく指導に努め、聞き入れる力・行動に移せる力を高める指導を進める。

(指導の重点)

望ましい環境構成に努め、園児の理想的な成長を促す

- ・生涯学習理念で教育を進める ・自立と共生、気力と体力の調和的発達を目指す
- ・「一園一学級」を旨とする ・小学校との連携を大切にする

(今後取り組むべき課題)

- ① 保育の幅を広げるために地域の施設や自然環境を大いに利用する
- ② 食育の推進を図る

2. 教師の自己評価とそれに対する学校関係者評価結果

評価基準/A:当てはまる B:どちらかと言えば当てはまる C:どちらかと言えば当てはまらない D:当てはまらない

(1) 保育の計画性

主な評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評価	取り組み状況	評価	ご意見・ご感想
指導計画は、園の方針を踏まえ、子どもの実態などを考慮して作成している。	A	今年度は、特に主体的な保育を意識して、実態を把握し、子どもに寄り添った計画を立てている。 ねらい・目的などを頭に置きつつ、クラスごと違う子どもの姿や成長をみながら、指導計画を立てている。	A	
子どもの記録を大切に、次の保育に生かしている。	B	ECEQの研修をして、日々の日案・観察記録を更に意識するようになった。記録をもとに、「その子に合った声掛けや援助は何か。」常に考えている。 変化や成長を記録し、それを振り返ることで、子どもの良さやもっと伸ばしたい所への理解を深め保育に繋げている。	A	誕生会でいただくカードに子どもの様子が書いてあり、子どもの良い所をたくさん見てもらえることが分かり、とてもうれしい。

(2) 保育の在り方 幼児の対応

子どもの健康と安全には、常に配慮している。	A	子ども達が健康や安全を意識して元気に過ごすことができるかを常に考え、教師の関わり、環境の管理や環境構成に気を付けている。 子どもへの視診を常に心掛けている。一人ひとりと触れ合い、目を見て話すことを心掛け、健康を目視している。	A	少しの怪我などでも心配していただきありがたい。 小さな怪我でも教えてくれて安心できるが、親が見ていても怪我はある。過度に謝っていただく必要はないのでは。
子どもが好きである。子どもに共感し、一人ひとりの良さを認めている。	A	黒田幼稚園の子どもたちが大好きです。特にクラスの子どもたちは特別で、私が子どもたちの安全基地になれるように心掛けている。 嬉しい時も悲しい時も、気持ちに寄り添い理解を深めていけるように心掛けている。	A	子どもに優しく声を掛けてくれてとてもうれしい。 激励の言葉など本当にうれしい。
個と集団を大切に保育を行っている。	B	個で伸びる力、集団で育つ所、それぞれの良さや必要性を学年でも話し合いながら計画・実践をしている。 子どもが集団の中にある”自分”を少しずつ意識できるよう、言葉がけに配慮している。	A	友達のことを思いやる様子が伝わってくるので、先生方がそのように話してくれているのだろうと思う。 人と比べず、その子がどれだけ頑張ったかをよく見ていると思う。

(3) 保育者としての質の向上のための努力・良識

幼稚園教諭としての指導の「引き出し」を多くしようと心がけている。	A	季節の行事や伝統的な文化などを調べたり学んだりして、子どもたちに伝承している。 先生方が行う保育にはいつも刺激をもらっている。アンテナを高くして、同僚の子どもへの対応、保育でのアイデアを学年会議で話し合い取り入れている。	A	幼稚園教諭としての指導の引き出しを増やすためにも、先生方にはプライベートを大切にしていきたい。 園で学んできた季節の行事、伝統文化、「しぜん」に出てくる内容を家に帰ってから教えてくれる。親が知らないこともあり、先生方の知識と分かりやすく伝える技術が素晴らしい。
守秘義務を果たしている。	A	園内の事は園内で話し、解決するよう心掛けている。 指導上、職員間での情報共有はたくさん行うが、それが外部に出ないように情報管理には十分気を付けている。	A	信頼して話ができる。

(4)保護者への対応

園だより、クラスだよりなどを通して子どもの様子・教育内容を発信している。	A	どんな成長が見られたか、どんなことを大切に保育を行っているかが家庭にも伝わるように心掛けている。伝わりやすい文章表現・文章構成を本を読んだり聞いたりして学んでいる。	A クラスだよりには、毎回感動している。先生の心のこもった指導、そして上手な学級経営がよく伝わってくる。おひさまにここ・ブログも分かりやすく、子どもの話とよくつながるのでありがたい。 活字ではなく、今までの様な直筆が真心がこもっていいなと思う。
保護者とのコミュニケーションを大切に、子どもの様子を共通理解している。	B	“おひさまにここ”やホームページのブログで、園の様子が保護者に、より身近に伝わっていると思う。	B 保護者との直接のコミュニケーションが減った分園児の様子・教育内容の発信が重要で、園や先生方の信頼にもつながるので、継続を希望する。

(5)地域の自然・社会との関わり

地域の自然や施設・機関を保育に活用している。	A	今年度取組みを見直し、子ども達の関心・興味の幅が広がっているし、子どもたちにとって楽しい活動だった。これから更によくしていけると思う。 埋め土などに出かけ、季節の草花や虫などに触れることができ子どもにとっても良い経験になった。	A 富士山世界遺産センターなど、近くにあるけど親がなかなか連れていけないのでありがたい。小さいからわからないのではなく、実際見るのが一番の勉強になると思う。 埋め土のお出かけは、黒田幼稚園ならではの教育。教室に凶鑑を置いたり、実際に出かけたり自然に触れる機会が減った今、とても大切な体験だと感じている。食育も良い。
------------------------	---	--	---

(6)研修への取り組み

年に一回以上は外部研修に参加し保育に役立っている。	A	全員が一年に1度は研修に行くことができるので、保育に役立つことを学ぶことができる。それにより自分の保育を改めて見つめ直すきっかけとなっている。 一人ひとりが参加した研修報告を共有し、日々の保育に生かそうと心掛けている。	A
本園の研修主題に沿った保育を実践することにより、子どもを深く理解し、成果に繋げる努力をしている。	A	ECEQの研修で考えた主体的な保育を核とし、子どもの考えや意見を聞き、主体的に楽しく遊べるように考えている。 ECEQの研修をし、さらにより良い保育ができるように考えるきっかけにもなり、実践していくことで子どもの姿も良い方向に変わってきたと思う。	A ECEQの研修の様子がブログにアップされていて、先生方の熱心な取り組みを知ることができた。

(7)園運営

子ども達が育つ園行事を企画し実施している。	A	子ども達が行事を終えるごとに成長している姿を実感しているので実施できていると思う。 “行事に追われる”という程、忙しさを感じる時期もあるが、そこで“何が育つか”を考え“続けていくこと”に賛同している。	A 行事一つ一つを大切に本番への過程を重要と考え、取り組んでいる様子がいつも伝わるので、行事を終えるたびに子どもが成長していると実感でき本当に嬉しい。 特に、ごっこ遊びは子どもたちが主体的に取り組んでいるようで、素晴らしい。ほかの行事を減らしても、このような活動を増やして欲しい。
園の思いを伝える努力と保護者の希望をくみ取る努力をしている。	A	保護者アンケートを通して、思いや考えを聞くことができ、園の良さを残しつつ、意見を取り入れ、ニーズに合わせた対応ができている。 アンケートを取るだけでなく結果も伝えているし、園の取り組みなどに変更があるときは、保護者集会などで思いを伝えている。	A アンケート結果を見るのがつらい。先生方が頑張ってくれているのに心無い意見や言葉が…。時代に合わせて色々変化することも大切だが幼稚園のぶれない姿勢も時には大切。幼児教育の本質を失わず、現場の先生方の考えや気持ちを大切に。 アンケートを取るようになってよかった。大変だと思うが、上手にまとめてくれていると感じる。

3. 学校関係者評価委員からのその他のご意見・ご感想

無償化に伴い変革の年で、いろいろ変えることが多い年だが、時代の流れに合わせて柔軟に変えていったと思う。「保護者はどこで幼稚園を選ぶか？」と考えた時、比較するものは先生方の人柄、カリキュラムではないか。
一園一学級は素晴らしい。自分の子がたくさん先生方に声を掛けてもらえ、成長を見守ってもらえるので安心して預けられる。
心を込めた教育を大切にしてくれて、温かい雰囲気の中で過ごす日々は子どもにとって宝物。人として大切なことを子どもたちにたくさん伝えてくれるので安心して通わせている。
昔も今も変わらずの幼稚園であり続ける姿勢に常々尊敬している。送迎時の先生方の園児を守るという姿勢。全職員が一丸となって『生命の尊さ』を認識している表れだと思う。
先生方は親の私たちにも寄り添ってくれている。先生方の優しい笑顔や温かい言葉がけに癒され、おたよりのメッセージに学んでいる。

4. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
ECEQの学びを活かした教育の質の向上を目指す。(保育の充実)	行事、保育内容を見直し、子どもが主体的に学ぶことができる保育環境を設定する。 栽培や本(凶鑑など)などからの食育推進を図る。
保護者とのコミュニケーションの充実	希望面談を取り入れコミュニケーションを図る。